新京日日新聞
夕刊
一月七日（日）
發行所 新京日日新聞社

# 日滿名士の年頭所感

## 司法部總務司長 古田正武

横暴極りなき軍閥の搾取、桎梏の下に喘ぐ三千萬の民衆をして等しく王道の慈雨に浴せしむることは我滿洲國の使命であり、財物、權力に依つて曲歪され屈伏されんとして居た陰慘な司法界多年の暗黒面を打開して正しく、清く、明らけく、以て民を述べしめ無辜の罪に泣く者を除き、東亞三千年の正義を顯揚することは即ち我滿洲國司法部の大目的である

吾等司法同人は建國以來此使命の遂行を目標として司法權の獨立、司法制度の改善、司法人事の刷新又は民刑事法規の制定等に鋭意努力を續け、其間の成績見るべきもの多々ある事を確信するも、併し多年の因習、陋弊の離脱革正を一朝一夕に求める事は至難である、二ケ年の過去に於て我等司法同人に依つて革新改善されたもの少からずとは云へ、猶今後に殘されたる課題は列擧に遑のないものがある

即ち司法制度の上より見る時は、最高法院、高等法院、地方法院等の正系の各級法院の外に行政官たる縣知事が司法事務を掌握する縣司法公署又は兼理司法なる變態的司法機關存在し、爲に所謂司法と行政の分野明確を缺き、其間に幾多弊害の釀生を見る實無しとせず、司法權の完全なる獨立及運用の公正を期する上から云へば之等變態的機關に代ふるに正系の法院を設置する事は最も意を注ぐべき重要事項と云ふべきである、而して之と併行して考へねばならぬ事は司法警察官と檢察官との關係である、法規の上より云へば其間の指揮監督の制度は存在して居るのであるが實情は甚しく相違して居る、此點は少くとも日本に於けると同樣に搜査の中樞を名實共に檢察官に置く樣に改めねばならぬ、更に行刑制度に眼を放てば猶一層之が改善を痛感するものである、滿洲國に於ける現行行刑機構は實に前世紀に於ける殘滓機構と稱すべく、應報刑主義の刑罰執行以外の何物をも豫期せざるかの感がある、應報を原則とする主義は更に進んで犯罪の教育場ではないかと思はしめる、之を近代行刑思想に適合すべく教育、保健、衛生等に對し更に完備したる法規と機構とを確立せしむる事は焦眉の急なるものと思ふ、

斯る司法諸制度の革新は一に又人材の如何に在る事論を待たぬ、滿洲國司法界は決して人材少しとせざるも然し之を以て足れりとするは尚早である、之は一に裁判官、檢察官の養成及登用に關する制度に於て至らざる所多きが故に外ならぬ、故に先づ之が制度を確立し或は養成機關を設け或は諸外國への留學視察等の道を開きて司法官の向上の法を講じ、而して其待遇を改良し且其身分保證の途を確立して以て廣く人材を聚むべく、而して之が應急の法としては滿邦日本の優秀なる人材を招聘し、兩國人相携へて司法の改善に邁進する事は最も適當なる方途と考へる、之等の懸案實現の爲に滿洲國が相當多額の費用を要するとしても之は滿洲國成立、存在の爲の必要缺くべからざる當然の負擔であると信ずる

治外法權の撤廢は滿洲國の國是の一と云ふべく、而して其れは實に獨立滿洲國として當然の要求であると云はねばならぬ、然し之が爲には幾多の如き諸多の施設制度の改善を必要とする、就中司法制度の整備確立、換言すれば組織の改善、人物の採用、法制の整備等孰れも治外法權撤廢の爲には缺くべからざる必須の要件と云ふべきである、準備時代としての大同二年は過ぎた、新らしく迎へた大同三年は我等司法同人が之等諸點の革新改良の爲に凡百の障碍を突破して勇往邁進すべき多望の歳である

年頭の所感を述ぶるに當り責任の重大さを痛感すると共に壯心愈よ鬱勃たるを覺ゆ敢へて呵して年頭の辭となす

## 民政部總務司長 竹内徳亥

我滿洲國は建國三年の新春を迎へるに當り、大同二年を顧みて感慨なきを得ぬ、皇軍と滿洲國軍の尊き犧牲により治安は確保され、大同元年には二十三萬と稱せられた匪賊も六萬七千の少數に減じつつある、高粱繁茂期の治安狀態は滿洲國將來の治安方策に對する試金石として不安に感じてゐたが、別段匪賊の跳梁なく玆に治安確保も其の緒に就いた

軍の分散配置に代ふるに警察力を以てする方針で進んで來るが、そのために警察官の指導改善に力を入れ十二月迄に五百名の警察指導官を各地に分派し保甲制度を布き、自衛團を統一し以て軍警一致して一層治安の確立を圖ることとなつた

熱河、北支の聖戰並に江防艦隊の活動等により國境の確定を得るに至つたことは大きな收穫と言はねばならぬ、國際聯盟で繼子扱ひにされた滿洲國は國家としての資格を完備するに至つたが、今後は治者被治者共に其のベストを盡し、來るべき一九三五、六年の危機に備ふるの決心がなければならぬ

今日迄の滿洲國の行政を通觀すれば、新國として中央集權に專らなため地方行政には充分な發展を圖し得なかつたが既に百十七縣に縣參事、縣副參事を派遣し、地方行政の單位としての縣の施政改善に力を注いでゐる、現在縣長の權能過大に失するの憾あるが今後はその組織權限を分明にし刷新する方針である、中央集權と地方分權の融和統一を圖り又官治と自治の精神を徹底的に活用して滿洲國の發展に寄與せしめたいと思ふ、八月各縣臨時改組辦法を布き、從來の請負政治を廢止したが、將來は縣長の任命を中央政府が爲す方針に傾いてゐる

省の財政は中央政府より七百萬圓の補助をなしてゐるが將來一、二の省を除けば獨立財政の見込みがある、之が爲には稅制の整理並に金融機關の整理が必要である

# 年頭に際し 國民の奮起を望む

## 陸軍大臣 荒木貞夫

瑞雲九重に棚曳き皇威八紘に光被し宏大無邊の希望と雄暉高遠の理想とに輝いて居る皇紀二千五百九十四年の新春を迎へ誠に御同慶の至りである

思ふに昨年は實に芽出度い年であつた、即ち歳の十二月廿三日には 親王殿下の御誕生あらせられ皇國の礎愈よ鞏きを覺えた次第であるが一方國運の進展及國家理想の顯現の上にも亦極めて意義深い年であつた、即ち熱河の肅清、關内の聖戰、國際聯盟の離脱等總て之れ新なる國步の進みである、就中上下を擧げて皇國の意義を旺んにし皇謨扶翼の精神に燃えつつ其の使命に邁進しつゝある意氣は皇國興隆の兆であつて誠に慶賀に堪へないのである、而して國際聯盟の離脱は皇國天與の大使命である、東洋永遠の平和保全の信念の上よりその根本道念を異にしたるがためであつて誠に已むを得ざるのみならず、之によつて我々一同其自覺を增進したことは寧ろ喜ぶべき結果であると思ふ、之れ亦滿洲事變以來動き來た日本精神の國際的表現に外ならぬ事であつて此精神は何時か友邦の間にも徹底し他日必ず之を楔機として清朗なる國際的正義意識の顯現せらるるに至るを信ずるものである

顧みれば友邦滿洲國は着々として平和の建設を進め治安亦著しく改善せられ世界の驚嘆を受けつつ新興滿洲の意氣を示し其基礎を固めつつある事は此上もなき慶祝すべき事である、然しながら未だ僅かに建滿第三年に入らんとするに過ぎない事に想到せば今後皇國はその友好的協力に就いて一層の努力を吝まざる事を覺悟し宜しく治安に國防に產業交通に將に財政經濟其他に最善の義助を惜まず、王道樂土の完成に邁進すべきであつて是れ蓋し國民一致の念願である

今や皇國は雄邦日本君子國たるの襟持を以て天與の崇高なる使命に觸ひ詰める前明來の文化に對し喘ぎつつある世界の苦惱の上に東西文化を融合し我肇國精神の上に立つて物心兩調和の新文化興起の獨創的意氣を以て世界匡救の聖業に乘出さねばならぬ之れ今日の時局に對する我等の抱負であらねばならぬ、斯くて此自主の上に立つて始めて聖明に答へ奉るを得るのである、併しながら當然此聖業の前途には幾多の難局が介在すべきは覺悟せねばならない、又此大使命遂行の爲めには二、三年の短時日の能くする所でない事も十分承知せねばならない、即ち堅忍持久不變不斷の熱意こそ克く此難局を突破して光明の彼岸に導き得るを覺らねばならぬ、現下内外の情勢は徒らに他を罵り他を怨みぎ友邦互に嫉むの時ではない、自ら燒き自ら焦り或は兄弟閲須く自己の天職を内省深思し互に相倚り相助け眞に擧國一體其精神に培ひ其實力を養ひ以て皇謨恢弘へと邁進すべき秋である、歲頭に際し聊か所懷の一端を述べ深く同胞の奮起協力を望む次第である

# 戌歳の歴史（四）

## 古代から昭和の現代まで 織り込まれた事件の數々

明治三十一年、二五五八年の戌歳には、一月に元帥府を設置し、伊藤内閣が成立してゐる、それが六月には又衆議院が解散され、憲政黨の新組織によつて同黨大隈内閣の成立を見、しかも十一月には山縣内閣が現はれてゐるかうして一年に内閣が三度も變るといふ如き、政治的な昂奮時代が現はれたのも此の年である

明治四十三年、二五七〇年の戌歳には、三月に立憲國民黨組織がなり、七月日露協約が結ばれ、八月、韓國併合條約が締結せられて朝鮮は我國領になつた、この年十二月、東北及九州帝國大學官制が公布せられて、日本文化は次第に普及することとなつた

次の戌歳は大正十一年、皇紀二五八二年である、この年の一月には、歐洲大戰に於ける聯合軍の危機を救つて有名な佛國元帥ジョッフル氏が來朝し、四月の英國皇太子プリンス、オブ、ウエールスの來朝と共に、我國は二人の世界的賓客を迎へたのである、又、一月には大隈重信、二月には山縣有朋、二元老の薨去があつた、歐洲大戰後、各國の不安は軍備の競爭的擴大となつて現はれ、各國民は夫々重稅の苦しみと共に更に不安な空氣は世界に充滿してゐる、そこで米國大統領ハーディングの提議により第一次軍縮會議が大正十年十月から開かれ、日英米佛伊の五大國及び支白蘭葡の四國がワシントンで協議の結果、五、五、三の比率より成る軍縮が大正十一年の二月に締結された、これをワシントン會議と言ふ、しかしそれより十二年後、幾度かの軍縮會議を經て今日を迎へるのであるが、果して世界不安と國民重稅の惱みから世界の人々は解放されるであらうか、歴史の辿る道はたゞその歴史のみが解決する宿題であつて、遂に何人をも將來を豫測するを許さない、たゞこの戌歳史を調筆するに當り皇紀二六〇六年の戌歳を迎へる日、世界人類の平和が人類の上にあまねく普及することを祈るのみである（完）

# 日滿悲曲 生命線を行く

國友雄吉 （荒川芳三郎畫）

（蒙上演 上映）

（五十八）

海拉爾の一夜

それでも正陽街と呼ばれてゐる通りへ來ると、さすがに爰は、海拉爾唯一の商業街だけに、兩側には、毛皮、羊、肉、羊毛その他雜貨類の看板が、目につくのだつた。

「君。これから、いつたい、どうするつもりなんだい？」

默つて、一しよに歩いてゐた楠本が、多少心配になつて來たとみえて、後から、心細いやうな聲で尋ねた。

「電報は打てないし。明日にならなけりやどうすることもできやしない。今夜は、此處で泊ることにしようーー」

二人は、旅の日を重ねてゐる中に、いつか友人同士のやうに、親しい口を、利き合ふやうになつてゐた。

「泊るといつて。吾々が泊るやうな宿屋は、あるのかい？」

「も少し行くと、ロシア人のやつてゐる宿屋がある。僕は、二三度泊つたことがある」

佛一は、さう言つて、またサッサと歩いた。楠本は、仕方なしに默つてくつ〱いて來た。

佛一は、妻子のことで胸が一ぱいで、正直の處、楠本なんか、どうなつたつて構はなかつた。今となつては、寧ろ足手まとひになつて、彼と道連れになつたことを、今更後悔した。

やがて、その旅館までやつて來た。

ベルを押へると、間もなく玄關の二重ドアが開いて、ヌツと顏を突き出したのは八字髭のいかめしい、筋骨逞しい一人のロシア人であつた。

これが、この旅館の玄關番であることを佛一は、よく知つてゐたので、さほど驚きもしなかつたが、楠本はびつくりして、思はず二三歩、後退りした。

すると早速、日本語の話せる支那人のボーイが出て來て二人を案内してくれた。

案内された室は、奥二階の、細い西洋間であつた。

狹い室内には、寢式床、その側らに、卓子一脚、椅子二脚。隅の方には洋服簞笥が据てあつた。

二人は旅裝を解くと、先づ湯へ入つた。

時間は遲かつたが、二人ともに酒でも飲んでみたい氣持になつたのでその注文をして、やがて食堂へ行つた。

可なり廣い食堂だが、時間はづれなので、卓子には、彼等二人きりだつた。

食事を畢つて、室へ戻らうとして廊下へ出ると、電燈のあか〱と點火つてゐる廊下に、厚化粧の支那婦人が一人、艶めかしく佇んでゐて、二人に向つてニツコリ何かを求めるらしい秋波を送るのであつた。

「君。あの女、なんだい？」

楠本は小聲できいた。

「大方賣春婦だらう。この邊にはあんなのが、澤山出沒してゐるんだ」

「さうかい。僕行つて、からかつてやらうか」

楠本は、ニコ〱しながら、あと戻りをしやうとした。

佛一は、呆氣に取られた。

「よし給へ、君。そんな陽氣な眞似のできる吾々ぢやないぜ。君は滿洲里の弟さんのことを、忘れてゐるのぢや、ないだらうね」

楠本は、ハツと氣の付いた樣子で、俄にドギマギした。

「なあに、そんなことは無いよ。只冗談に言つてみたゞけのことさへ、、、ーー」

笑ひに紛らしたが、しかし、寂しさうだつた。

佛一は、ます〱この男が、嫌はしくなつて來た。

間もなく二人は、床に就いた。

楠本は、横になると、直ぐにグウ〱鼾をかき始めた。

佛一は容易に眠れなかつた。彼はソツト床を下りてベランダへ出てみた。

黒ずんだ北滿の夜空にも、星は美しく瞬いてゐる。

凍るやうな寒さも恐れず、一つの星を、ぢつと見つめてゐる佛一の瞼から、涙が止め度なくこぼれた。

「茂彦！ 市子！ 僕は爰まで來てゐるぞ！」

どうかして、それを知らせる工夫は無いものかーー。

夜の空は、只默々として果しが無い。


日日案内
三行 一回金七十錢
被雇度 一回金三十錢
五行 一回金八十錢
十行 一回金一圓五十錢
姓名在社 一回金十錢增
御申込みは電話三三〇〇へ

下宿 お世話は日日館 電話三八〇二番へ

金融 歡迎 一日賦、月賦 勤人、商人 秘密融通 入船町二の二三 電四七九六番 三光社

電氣治療 紫外線 放射 諸病血壓降下法 健生堂 電療院 祝町二ノ九

和洋料理 カフエー ミス新京 東四條通 電三七三三番

親切な藥屋は 中央藥店 吉野町二丁目 電話三三八一番

京染洗張專門 にしきや 電二六二〇番 消防隊横入

印刷 三友社 新京永樂町三丁目廿六番地 電話二四三八番

金銀 高價買入 横濱屋質店 東二條通り廿五

洋帳簿 各種製本專門 三笠町三ノ九 三省堂製本所 電三三三四番

貨物運搬 お引越し荷物責任以てお勉め致します 自動車修理 事務所（東四條通二十六） 啓明汽車公司 電話二九五七番

眼鏡の御用は金華堂へ 吉野町二丁目 電話二六四五

滿洲國政府公報 雜誌販賣開始 大阪 東京 朝日新聞 朝日社 栃尾新聞舖 東二條通廿一 電二三四二番

土地、家屋 賣買 並ニ 仲介 住宅、電話 貸家貸間親切に御紹介致します 電話低利にて金融致します 新京東一條通五四 金光教會前 萬成社 電話四八八四番

新春第三週番組 七日封切四日間（毎日晝夜二回）
松竹蒲田特作 原作 吉屋信子女史 監督 佐々木恒次郎 女人哀樂 坪内美子 竹内良一 主演
松竹下加茂特作 原作 子母澤寛 監督 井上金太郎 大村鐵太郎 坂東好太郎 飯塚敏子 主演
松竹蒲田小品 山村の光 結城一郎 若水絹子 主演
松竹共營 長春座

滿洲銀行

北鮮經由東京へ!! 大阪へ!!
ー敦賀ヨリ東京へ國際列車ー
滿洲丸（雄基・清津出帆 毎六・十六・二六日（月三回））
天草丸（雄基・清津出帆 毎一・十一・廿一日（月三回））
北日本汽船株式會社 代理店 北鮮運輸

內科、外科、小兒科 產婦人科、花柳病科
博愛醫院 附屬產院
新京朝日通一九 日本橋南詰西入三軒目
院長醫學士 上山源六
產院主任產婆 宇野ノブヨ
電話四八二八番
入院往診隨時
●見習看護婦四名募集●

機械工具 煖房材料 水道用品 衛生陶器 油脂塗料
新京日本橋通六〇 東華洋行 電話三三五七番

明けまして御目出度う!!
新年御宴會は!!
美妓、好感、サービス滿點の……
嬉野で御催しを!!
料亭 嬉野 三笠町三丁目 電話三八三〇番

御料理 會席 鰻 天ぷら
食道樂 吹雪
朝日通領事館下 電話三八四四番

9年の新春に ふさわしき殿堂
カフェー アリラン
花輪町一丁目三番地（驚ノ座前）

# 日印會商の結果に 雜貨業が憤慨
## 終始紡績本位に終つたと 協議會で反對決議

〔大阪國通〕日本雜貨輸出業者聯盟を主とする琺瑯鐵器、陶磁器、メリヤス等の製造業者は日印會商が紡績本位で雜貨關稅を犧牲させる傾向があるので反對し來つたがその効なく成立したので、六日午前十時堂ビル內に阪神雜貨業者大會を開き協議の結果反對決議をなし各代表に打電すると共に日印貿易協議會內に本部を置き運動を續けることに決定した

## 紡績協議會 綿業會館で開催さる

〔大阪國通〕日印協定成立に伴ふ印棉不買解除に關する紡聯協議會は六日正午綿業會館に加盟社中の四十四社代表出席の上開會され阿部紡聯委員長に代り庄司氏が議長となり

一、印度政府の關稅引下げを前提として印棉買入れ停止の申合せを解除する

一、本決議實行に關する善後措置は委員會一任の二議案を上程滿場一致可決し昨年六月より七ケ月に亘る印棉不買を八日より解除することとなつた、協議會後紡績聯合會では左の聲明書を發表した

印度政府は昨年四月日印通商條約を廢棄し我綿布に高率な關稅を課するに至り我同業者はこれがため反省を求め印棉買入れを停止したが聞くところによれば五日を以て兩全權間に協定成立した由、我々は當局の努力を謝するものであるが協定の內容に滿足の意を表し得ざるを遺憾とする大方諸君も同樣と信ずるが協定成立し新條約の締結されんとするに至り印度政府の關稅引き下げを前提として印棉買入れ停止の申合せは解除せんとす、印度政府が適當なる機會に於いて本協定を是正せん事を翹望するものである

## 紡聯聲明內容 印棉不買決議撤回に關する

〔大阪國通〕紡績聯合會は六日大要左の如き印棉不買決議解除の聲明を發表した

印度政府は昨年四月中旬突如として日印通商條約を廢止し、次で我綿布に對し七割五分の高率關稅を賦課し多年に亘る兩國間の親善關係を無視した、よつて我々當業者は同國政府の反省を促すため斷乎として印棉不買行使の擧に出たことは世上周知の事實である、今回成立を見たる協定內容に就ては滿足の意を表する能はざるを遺憾とするものであるが、日印兩國の政府間に於て既に協定の成立を見、且つ新條約の今後に於て締結せられんとする以上我々は既に忍ぶ可からざるを忍んで同政府の關稅引下げを前提とし、之を期を同ふして印棉買入停止の申合撤回を爲さんとするものである

## 次期對策協議のため 井上實務員デリーへ

〔デリー六日發國通〕滯印中の名古屋市海外貿易在實務員井上氏は關稅改正による次期の對策を考究のためチラオラ氏と協議するべく再び當地に來着した

## 印度向輸出綿布は 商工大臣の査證を必要

〔東京國通〕日印會商も既に成立を見たので政府は對印輸出綿布の統制問題に關し考究の結果八日附官報をもつて印度向輸出綿布は商工大臣の査證を必要とする旨を規定した省令並に之に伴ふ告示も公布することとなつた

成蹊の名士（4）

南次郞氏

大分縣人、明治七年生れの六十一歲、明治三十六年の陸軍大學出で累進して昭和五年に大將となり同六年の四月若槻內閣に招かれ、陸相として入閣大に手腕を揮つた。

## 荒木陸相の容態 前日と變らず
### 余病併發の惧れなし

〔東京國通〕荒木陸相の症狀は今朝以來稍や安眠し頭痛も輕減し一般症狀は前日と略々同じく體溫三十八度、脈搏九十四、呼吸三十五で今の所余病併發又は病氣擴大の惧れはないと主治醫は語つて居る

## 休會明け議會 二十三日に開會

〔東京國通〕休會明け議會開會に關して田口衆議院書記官長は六日午前十一時總理官邸に堀切翰長を訪問し、協議の結果二十三日開會に決定、當日は先づ貴族院で齋藤首相の施政方針、廣田外相の外交方針の演說があり、次いで午後衆議院で同樣の演說をなすに決定した、尙ほ右の演說內容は十九日の閣議で正式決定上奏御裁可を經る筈である

## 滿鐵異動

〔大連國通〕滿鐵建設局では今回水道調査所新設に伴ひ四日附で左の人事を發表した

技師 靖田 清一 命水道調査所長

技師 大野 岩雄 命水道調査所調査課長兼任給水係主任兼地質係主任

技師 中島 淨吉 命水道調査所工務課長兼任地方部工事課給水係主任兼一般土木係主任

## 三月の公債發行高 二億圓程度か

〔東京國通〕政府は八年度公債發行豫定三億六百萬圓々殘し、三月までに發行する運びであつたが、財界の好轉著しく歲入の自然增加其他が一億となるので三月の公債發行高は二億圓程度で止まる模樣である

## 卸賣物價 十二月も落調

〔東京國通〕日銀調査、十一月以來低落せる卸賣物價は十二月に入るも低落を示し調査品目五十六品中騰貴したもの八品なるに、低落したもの卅一品で、總平均指數十一月に比し一分八厘低落してゐる、即ち騰貴した品目は砂糖、製茶、絹裏地、日本紙、石炭、石油等で、大麥、裸麥は實見送り、小麥、生糸は海外安で小豆は產地安、小麥粉は原料麥安、マツチは賣行不振、綿織物原糸安、眞綿は生糸安木材滯貨增加、皮革は反動安と爲替安により低落してゐる

# 陸相の病氣で
## 改組問題當分表面化せず 事務的折衝のみ行ふ

〔東京國通〕荷驥陸軍省の平井一等主計と秋永少佐携行の滿鐵改組案に就き陸軍中央部は新春と共に、關係者と正式折衝を開始する豫定のところ荒木陸相の病氣のため政治的折衝に支障を來し、且つ滿鐵と滿洲國との現狀より見て政治折衝のみを賴りとなし得ず原則として事務的折衝を中心とするに六日決定、當分の間は該問題は表面化せずと觀測さる

## 名古屋、旭川、京都 各師團改組 陸軍當局準備進む

〔東京國通〕陸軍では明年四月乃至六月名古屋、旭川、京都の三個師團に改組を加へるので準備中である

## 明年度豫算打合せに 首相政民兩總裁を訪問

〔東京國通〕齋藤首相は議會前に明年度豫算の說明をなし諒解を得るため政民兩總裁を訪問するが、その時期は十三日頃の豫定である

## 第四次全体會議迄 福建討伐繼續か

〔南京六日發國通〕曩に胡漢民氏の發した『中央』及び福建人民政府に對する停戰要求通電に鑑し五日中央では行政委員長汪精衛氏以下の要人會議を開き協議の結果此際胡漢民氏の主張を却けあくまで福建武力討伐方針を徹底するに意見一致した、斯く中央が斷乎たる決意をなすに至つた理由は第四次中央全體會議の開會を前にして福建問題を現在の狀態に放置して置くことは中央として威信の失墜を意味するものであり統一を目的とする第四次中央全體會議が却つて全國的紛亂の端緒となるやも計り難いのでこれが開會迄福建攻擊を續けんと決定して居るので最近該方面に於ける中央軍の活潑な『行動』も遂殺の決意を裏書して居るものと思惟される

## 本溪湖の工業實習所 愈よ開設の運び

〔大連國通〕本溪湖居住者數年來の懸案たる工業實習所の新設運動は地方委員や實行委員によつて滿鐵本社に賴りに働きかけてあたが、今回漸く

# 年頭之辭

海軍大臣 大角岑生

顧みれば昭和八年の一年間には我帝國にとり、又全世界にとり、幾多の重大なる事件が起つた、即ち熱河省の平定、帝國の國際聯盟脫退、政界、經濟界、日印會商、さては獨逸の國際聯盟脫退等實に十指を屈するも足らざるの觀がある

狂瀾怒濤を乘り越えてよく困難を今日打開して來たのであつて此の國民的精神と活動力とは實に驚異に値するものがあり、日本國民に對し絕大なる自信力を與へたものと思ふ但し個人にも國民にも自惚は禁物であつてすべからく滿心を戒むると共に此の自信力を把持し、冷靜なる態度を以て昭和九年の來るべき一年間に向はねばならぬと考へる、帝國がその國策を遂行する上に於て前途に多大の難關の橫はるものあるは今更申すまでもない之等重大なる時機に際し、我が島帝國の海軍として總責務の愈よ重、且つ大なるものあるを痛感する、從つて我等海軍々人は益々操守を堅くして本務に專心、上下一致護國の大任を果すに遺算無きを期する覺悟である

國民一般もよく此の透の意義を諒解し、困苦に耐え、多大の犧牲を忍びて軍備の充實に力を致しつゝある事は身軍職に在るもの等しく感奮するところである

外務大臣 廣田弘毅

內外に各種の問題を藏しつつ吾人は茲に昭和第九年を迎へた新年度に於て各國は其の景氣恢復の爲又國際關係整調の爲前年に引續き又前年に倍加せる努力を爲すものと思はれる、今日の世界環境に於ける日本の地位の如何に重要であるかは今更喋々を用ひない所吾人は時勢に對する的確なる認識の下に、然かも平生無畏の心を失ふことなく與へられたる使命を遂行せねばならぬ何より肝要なことは我國民の道義的基礎を强化することである一國の興隆を支配するものは結局に於て其の精神的訓練の高度の問題である、學問事業一ならず一人の心天下に繫がることを思はねばならぬ斷乎たる國家的自信、冷靜なる判斷、國際上の公平正大の精神が、今日の大事を處するに不可缺の要素であらねばならぬ、滿洲事件以後、日本を圍繞せる所の種々の誤解は其の殆分ば已に解消した、誤解の他の部分も驅々解消すべきことを確信する、蓋し日本は全力を擧げて滿洲國を支持したが、此の日本の態度が正しかつたことに、獨立第二ケ年間の滿洲國の實狀が有力に語つて居る

日本はあらゆる諸國との協和を熱望するが、特に隣接諸國との善隣的友誼を希望する、卒直に云へば近年世界各國は近視眼的局部に屢々理性を眩まされた感がある、予は此の新に迎へたる年を徒爾なもしむることなく、凡ての人類の進化過程を大觀するところの歷史的視角から見直し、世界平和の爲建設的努力を盡すことが各國の指導的地位にある者の義務であることを信ずる

## 遠藤さんの放送 上々の出來
### 建設途上の滿洲國實情紹介

七日午前十一時五十分から新京中央放送局では滿洲國々務院總務廳長遠藤柳作氏を聘して『大同三年を迎へた滿洲國』の演題のもとに本年度定期東京への初放送を試みた、遠藤氏にはこの日和服すがたで十一時四十分自動車で放送局に乘りつけ先づ犬飼アナウンサーの案內で應接室に入り加藤局長に挨拶をなし四十五分にアナウンサーの先導でスタヂオに立ち、紫煙をふきつつ定刻の來るを待つ態度は流石に內地でたたく「マイク」の前に立つた經驗者だけあつて悠々たるものがあつた、犬飼アナウンサーの紹介により先づ大同二年の新春を迎へての挨拶をすますところへ新春の陽は放送室の中ばまで差し込んでこの放送にはふさわしい天候であつた、最初建國以來の治安狀態の詳細な說明あり、續いて滿洲國の財政狀態を紹介し次々と建設滿洲國の全面に亘つて放送をなし、約三十分間に亘つての放送は日滿兩國民に堅實なる建設途上にある滿洲國內狀を熟知せしめるところであつた

## 若き女性の 短波無電界進出

〔東京國通〕非常時日本は女性にも反映し、若き明朗な女性が短波無電界に進出し、遞信省の技術試驗にパスするもの續出し素人無電局設置を願出するものが相當多數に上つてゐる

## 皆既日蝕觀測に 早乙女天文台長外多數出張

〔東京國通〕來る二月十四日午後十時五分より七分迄皆既日蝕となり、世界天文學者は我も我もと觀測地南洋カロリン島方面に押しかけてゐるが我が早乙女三鷹天文台長外大學敎授十數名は一月十五日橫濱より軍艦春日に便乘カロリン島に向ふ事となつた

## 佐藤書記官着任

過般歸朝した當地大使館米澤書記官の後任として本省條約局第三課長佐藤庄四郞氏が六日早朝館員多數の出迎を受けて着任したが、同氏は今後大使館條約課長を擔當する筈である

## 生駒局長 今夜離京する

滿洲に於ける移民調査のためさきに來京中であつた拓務省生駒監理局長は右調査を一まづ終へ七日午後十時新京發で歸國の途につくこととなつた

## 學級增加に伴ひ 滿鐵學務課で男女敎員採用

〔大連國通〕滿鐵學務課では沿線各地の邦人居住者激增に伴ひ中小學校の學級增加の必要に迫られ、四月の新學期より小學校五十、中學校一學級女學校五學級を夫々增加することとなり、之と共に附屬地外の邦人小學校委任經營の實現を見れば相當敎職員の增加異動も行はる可く今日迄決定せるものは三月奉天の敎員養成所を出る廿五名及內地から新採用の卅名である、之が配置と共に全般的に大異動が行はれる筈で、發表は三月末となる、尙從來女敎員は其異動激しく敎務上多々不便の點あるに鑑み今回獨身者に限り數名を採用する筈である

## 四平街

### 飯島元署長 四洮鐵路局入り

〔四平街支局發〕元四平街署長飯島慶藏氏は這回四洮鐵路警務課に勤務することとなり去る五日來任したさ

### 消防出初式

〔四平街支局發〕新春を迎へての恒例に依る四平街滿鐵消防隊出初式は六日午後二時三十分から同隊構內に於て武田中將其他市民代表多數列席搭の寒風を衝いて人員點呼服裝並器具點檢放水試驗の後署長の訓示あり右終つて同隊車庫にて賀宴を催したが鍋沼監督の一場の挨拶に來賓側を代表して添田地委議長起つてこれに答ふる處あつて宴に入り十二分に交歡宴止に酣なる頃添田氏の音頭にて滿鐵消防隊の萬歲を三唱、かくて盛況裡に午後四時半頃本年度出初の諸式を終了した

### 馬匪に遭遇

〔四平街支局發〕去る五日午後一時頃河北省昌黎縣人張長財は馬仲河より昌圖城內に赴く途中昌圖縣第一區興業村南鎗賢孝牌處に於て馬匪一名に遭遇し衣類數點大洋三元を强奪され該匪は西南方に向つて逃走したとの報に依り城內警察隊は直に追擊したが時既に遲く遂に逮捕に至らなかつた

## 松井種市氏逝く

新京地方事務所住宅係松井種市氏は先月二十三日風邪にかゝり露月町二丁目三十三號ノ一の自宅で保養中、急性肺炎を併發し七日午前五時遂に逝去した、享年五十八歲、家庭には夫人および赤業二年生の令息がある、葬儀は八日午後二時祝町西本願寺で營まれる筈

## 人事往來

△佐野義臣氏（新京金融組合理事）嚴父危篤の報に接し七日朝急遽郷里大分へ急行

▲長尾吉五郎氏（民政部警務司長）六日午後三時二十五分着哈市から

▲森島守人氏（ハルビン總領事館）同上

▲白文清氏（吉林警備步兵第〇〇團長）同上四日午後十時發奉天へ

▲篠康氏（民政部次長）同上

▲高波少將（獨騎兵第〇〇團長）六日午後四時三十分發奉天へ

▲石丸中將（執政府侍從武官）六日午後七時二十分着奉天から

▲松村少佐（綏區司令部副官）同上

▲羅振玉氏（監察院長）同上旅順から

▲仁村少佐（航空本部）同上奉天から

▲加藤少佐以下〇〇名（高射砲第〇〇隊）七日午前六時二十分着

▲松田芳助氏（本省特別區警理處長）七日午前八時三十分發哈市へ

▲金光楨氏（虎林縣々長）同上

▲蔡儒內（東省護路軍總司令部上校參謀）七日午前九時發大連へ


美味しい 御米の御用は ∧手印へ 新京祝町五丁目四 千葉商店 精米部 電話二四三二番

愛媛縣人會各位に告

來る一月十日午後四時半開花に於て新年宴會を開催致しますから奮つて御出席を歡迎致します尙當日は豫洲講も開催

但豫洲講會員は 金三圓也

普通會費は 金八圓也

會費は當日御持參のこと

申込 松田洋服店 松田金太郎 電話二一四六番

場所 興榮號 吉井壽一 電話二五一三番

理想住宅落成

場所 大同街に面し安靜交通至便

戶數 アパート式五棟（四十戶）

設備 各戶八、六、二疊、風呂、水洗式便所、スチーム、煖房設備完成

賃貸料 月額 六十圓

東拓內 八島通 鴻業公司 電話三八〇九番

女中さん至急入用

年齡二十才より二十五才迄厚遇いたします御希望者委細面談

新京東四條通り 大矢組 電話四四九六番 三三九二番

洋髮 美顏術 美爪術 フリージャ美容室 常磐町一丁目八番地 中央通大阪屋質商橫町

滿洲語研究員募集

一、資格 初學者

一、時間 自午後六時半至八時半

一、教材 簡易支那語會話一切

一、開講日 一月八日

一、研究料 八圓（四ヶ月分）

一、期間 四ヶ月修業

新京東二條通四三二階（滿鐵病院西） 滿洲語學研究社

食料品と雜貨は 市場內 日華洋行へ 配達は飛行式 電話三三四三 三八二五番

新春の…… 御寫眞は！ 林田のスタヂオで!!! 增改築新裝なれる ●出寫の御用は電話でどうぞ● 中央通警察署前 電話二二一一番

商用図案は 鳳三堂 梅ヶ枝町三丁目

味覺の王者 青柳の鯛すき 簡易輕便 新京キネマ東五軒目 食道樂青柳 電話三〇番

ゆくもかへるもあをやぎのせき

青柳からキネマへ キネマから青柳へ

# 煙匪に包圍され 虎林縣城刻々危機
## 一日以來陳東山、高玉山軍が 吉林騎兵旅が防戰

(吉林國通)當地某機關に達せる情報によれば虎林縣城は去る一日以來陳東山、高玉山等煙匪の聯合軍約一千五百の大部隊のため包圍され守備の吉林騎兵第四旅の閻成珠團必死防禦に努め連日猛烈な戰鬪を繰り返して居るが守備軍の兵力薄く縣城の危機刻々に迫つて居ると云ふ

# 王道をしたひ 蒙人舍營に擾亂惹起
## 共産黨員と武力抗爭

(ハイラル國通)蒙古ハイラル地方より避難せるソ聯人の語る所によればハルハラ及ウルクン河に沿ふて

=點綴=

する蒙人舍營に於てはソ聯政府の壓政に堪へかね王道善政の滿洲國合併を翹望するもの多くソ聯政府擁護派はこれを阻止せんとして抗爭漸次尖鋭化し、十二月中旬以來共産黨員は威嚇手段として大擧親蒙人舍營を片つ端から勦擊したので蒙人側も自衛手段として武器をもつて對抗し目下至る處に流血の慘劇が演ぜられて居るが擾亂は益々擴大する模樣でソ聯人は全部安全地帶へ避難しつつあると言ふ、因に同地方に於てはソ聯官憲が蒙人生活保證の柱石とも云ふべき家畜を管理し賣買權は言ふまでもなく自家需要さへ自由に使用し得ざる狀態に置かれてゐるので、蒙人は焦燥的にソ聯政權より離脱し滿洲國に合併して王道善政の保護下に家畜の再興を圖り樂土建設に

=邁進=

せんとして今回の擾亂を惹起するに至つたものと見らる

## 滿洲國扱ひ 年賀 これまた激增

さきに新京郵便局の昭和九年年賀狀の引受、到着數を報じたが次に滿洲國側郵政局取扱數を調べて見やう

舊臘十五日から三十日まで特別取扱期間中引受數は七十一萬三千六十四通で前年に比較すると前年は三十三萬三千四百十五通で三十七萬九千七百余通增加で十割增であつた到着は三十一日までの分二十九萬五千八百二十九通昨年は十九萬七千五十通で九萬八千七百七十九通增加であつた到着の分から日本人宛のものは日本局へ廻送するので割合に配達實數は少ないそれでも普通は二十二名で配達するものを年賀狀配達には九名增員して三十一名で配達した、なほ引受事務は普通は十二名でやるところを特別扱期間中は十三名增員して廿五名で引受事務をなし斯樣に增員をなした上本年新しい試みとして自動車二台で一所に多數の配達する役所銀行その他特別な箇所に特別配達をなすとか、誤配なき樣手配して配達指導員を自動車で派遣するなどあらゆる手配を講じた結果配達も順調にはこばれ、引受けも滯りなく行はれた、特に當局が年賀狀差出しにつき宣傳(新聞廣告ポスター)をなしたがこれが效果あつて差出しもよく期間中に行はれた、なほ正月過ぎてからも引受は大したものはないが到着の分が多く一日着が四萬五千二百四十六通、二日着一萬八千四百十通三日着四萬二千二百六十通四日着一萬九千四百通五日着二萬二千五百三十五通で今なほ二萬をこし／＼の年賀狀が到着して十日ごろまでは矢張り新京局と同樣正月氣分にはなれぬといつてゐる

## 滿洲國軍政部で けさ耐寒行軍
### タイピストも交る

滿洲國軍政部では、正月の松の內氣分で、部員の士氣が弛緩してゐるので、その弛緩した士氣を鼓舞するため、七日の日曜午前五時、部員一同新京神社に參集それより寒風を衝いて耐寒行軍を開始、新京神社より大同廣場に出で、それより、省立師範學校前より新公園と競馬場と迂廻し午前八時西公園に歸着、海軍記念碑に於て温い酒、お汁粉で、温つて解散したが、參加者百五十名、內滿人が五十余名、婦人タイピストまで參加し、一名の落伍者もなく、頗る好成績で今後も引續き耐寒行軍を行ふと

# 昨年中の給水 千三百戸增加
## 新規取付大体終る

首都新京の發展に伴ふ人口の激增により上水の需要も急角度に增加し昭和八年は所謂新京上水の非常時を現出したがいま地方事務所水道係の調べによると

△昭和五年度
給水戸數　三七四五
同　栓數　二六三七

△昭和六年度
給水戸數　三八九一
同　栓數　二七五〇

△昭和七年度
給水戸數　四〇八五
同　栓數　三〇一五

更に昭和九年十月現在による
給水戸數　五八六一
同　栓數　四三一九

と躍進に躍進をつゞけなほ同年十一、二兩月の新規の分を加へると優に給水戸數六千戸以上にも上る見込であり、同年中に水道引込栓の申込を受付けたもの四月いらい大口の滿鐵社宅四百戸を始めその他を合して實に千三百戸にも上りそのうち九分通りは既に出來上つたがなほ本年は前年度の繰越も相當あり、前年に劣らぬ盛況を見るであらうといはれてゐる

## 頭道局で 日語を教授

滿洲國頭道溝郵局に臨時事務員に雇つた新京公學校生徒十名はいづれも眞面目で不平もいはず働いて效果をおさめた、なほ同局では昨年十月から局員に對して晝夜二回一時間づゝ日語講習をなしてゐるがこの大勉強振りは大いに期待されてゐる

# 新京中學校
## バラツク建假校舍を新築 學級增加に迫られ

新京中學校、同商業學校および新京高等女學校では入學志願者の緩和をはかるため今新學期から各一學級を

=增加=

することゝなり新京高女は既報の如くこの學級增に伴ふて六教室の二階建一棟を增築に內定、商業學校は一學級の增加では早急の增築を必要としないが中學校は現在部屋借りの狀態で一學級を增加して假校舍向きの家屋を借りるべく物色中であつたが何分家屋難の折柄とておもはしいところがなくやむなく新校舍の

=落成=

をみるまでバラツク建の假校舍を建築することになり目下敷地を物色中で敷地が決定次第工事に着手すること

すれば新學期からは五學級となり滿鐵の方針は出來得る限り目下工事中の新校舍竣工までは不自由ながらも現在のまゝで授業を行ふ豫定のところ學級の增加その他の關係で現狀の續行は到底許されないこととなつてきたので急に最初の豫定を變更し來學期からは商業學校から分離する事とし

# 滿蒙犬の話

滿蒙犬は衛生觀念の薄かつた時代にウンと繁殖したので滿洲國到るところウヨウヨしてゐるが、大部分人に危害を加へるやうなことはしない、支那の遊民と同じで、食物のある所、必ず數匹の野犬が折重なり、餓狼もかくやと思ふ姿で、生きんが爲めの淺間敷い闘爭を續けてゐるが、夏になれば相當流行病の媒介になるので、滿洲國になつてから民政部衛生司は相當の費用を投じ野犬の處理を講じてゐる然し害毒になる反面に於て、滿洲の生活になくてはならぬ毛皮として、人間の生活に大いに役立つてゐるので、日本のやうに一概に撲殺する譯にもゆかないので、當局では防疫と保護の兩方面を、併せ行つてゐる次第だ。とまれ「滿洲は犬の多い國だ」と云ふ觀念は旅行者のファスト、インプレツシヨンである

滿洲に於ける犬の種類は最近沿線地方は軍用犬思想の影響でシエパードが我世の春とばかり横行濶歩して居り、次いで洋種、雜種の畜犬が見受けられるが、全滿から見ると九割以上は純支那犬で、それも半數以上は野犬である、次は蒙古に於ける有名な蒙古犬である、その種類は番犬用、狩獵用及び蒙古狆の三種類で番犬は支那犬と同一系統のものである、けれど狩獵用(蒙古名チョンノヘイ)のものは蒙古の特産で、ファウンド型を呈し、脚長く、腹部まき上り、鼻梁長く、耳短く、尾細長く、体毛短く、而して性勇猛輕快で驚く程の疾走力を有してゐる、一旦出獵獲物に會した時などは、よく主人の命を聽いて些細の間隙もなく斷りかゝる

又番犬は軀大きく性獰猛で未知の人に對しては攻擊の鼻息荒く手が付けられない、たとへそれが馬上の人であつても猛烈に鬪ひかゝり、この際騎乘者は大聲で「ノホウ、ホウーレ」(犬を注意せよの意)と呼ぶことが必要である、すると蒙古人は氈幕から出て犬を制して呉れる、番犬はこうして蒙古人の家畜を監視し外敵に備へてくれる、故に蒙古人の犬を愛することは我が子の如くであつて、他人が毆つたり仕様ものならそれこそ命懸けの喧嘩も敢て辭さない、この點毛皮になるだけの役目しかない支那野犬に較べて蒙古犬は、犬界の特權階級であるとも云へやう

蒙古犬は別として、大体に於て滿蒙は野犬が多いが、然し一般に泥棒用心の爲め番犬飼育の必要に迫られてゐるので、農家等に於ても畜犬をしない家は少く、一軒で數匹の狂犬を飼つてゐる家も珍らしくない、又之等の犬は訓練如何によつては良い、「その犬」ともなり、北滿方面では相當利用されてゐる

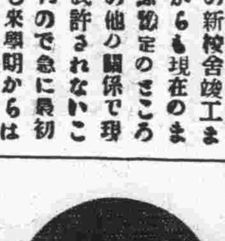
滿蒙産の犬は一般に毛が密で長く、毛皮用に適すること世界無比で、而も皮形、皮質均一であると、産額の豐富なのと相俟つて商品的價値を高め、犬皮と云へば滿蒙犬皮を意味する程である、毛色は普通黑、褐、黃等であるが、光澤に富み、恰も狼の如きものあり近年需要頓に增加し、價格は年々急激な騰貴を爲してゐる

市場では北路もの、西路もの、東路もの、南路ものゝ四種類に分ち、北路もの即ち北滿ものが最も品質優良とされてゐる、犬皮は生地のまゝ用ひられるのは稀れで、染色した上使用されるが、概ね北滿物は黑、南滿物色物、天津色物に區分され、最近歐米方面にも盛んに輸出されるやうになつた、用途は主として敷物を作る外、滿洲國及び支那では勞働者の防寒衣、又は支那式客馬車の幌防寒張り等にも用ひられてゐるが、滿蒙犬も毛並み次第によつては、づんと出世して美人に頬づりされる果報者も少くない……と云つたら、その邊の人達は變に氣を廻すかも知れないが、決して驚ろかなくてもよろしい貴男方のベターハーフや、彼女等々のあのまつ白い襟首に白日の下、大つぴらでまきついてゐるのが我が滿蒙犬なのだ、但し皆が皆とは斷言は致さないが、黑狐なら三、四百圓普通の狐なら百五、六十圓以下のものだつたら大概例外なしに我滿蒙犬の化けたのだと思つて頂いて先づ間違ひないだらう、それで納得がゆかなかつたら、狐の顏、特に鼻から口にかけての狀態を仔細に調べて御覽、我が親愛なる滿蒙犬が無理矢理にお狐さんに化けさせられてゐる痕跡が發見されるだらう

滿蒙い特に北滿の野犬が皮になつてこの位アメリカに洋行するか税關で調べて御覽、アメリカに洋行した犬皮は巧妙な技術で顏や尻尾を切り張りされ、漂白され染色されて了ふ、こうなつてしまつては犬君いくら「いぬく(いまし)しい」と地團駄踏んで泣きさけんでも、もう駄目だしやにむに再び太平洋を渡つて懷しの我等が亞細亞に送り返へされた時は生れもつかぬ立派な黃、白、黑の狐になつて毛皮屋の店頭に並べられる洋行歸りの犬君達は「私共王道滿洲國に育つた犬ですもの世々僞る氣持等は毛頭無く心中忸怩たるものが無いではないのですが、其處は其れ日本のきれいな貴女方の御首に卷いてもらへると思へば犬であらうが、狐であらうがそんなことはイヒ……」と得意の鼻をうごめかし乍らより美しい人が買つて呉れることをたのみ窺つてゐる

御待合 貸席 由良助

## 花街の噂
### 待合「すみれ」と 置屋小川席



新興の橋南花街、扇芳亭、一つ家、すし竹等既に開業し更にまた、待合のすみれ、置屋の少川席が華々しく開業しました、すみれは今度出來た待合の方が本店となり、前お馴染の方は支店として存續、例の眼玉の千代龍などの一黨はそこに相變らず

×

置屋小川席の方は大連の本店から今度も第一陣に選拔派遣されたセンズルコ事千鶴子を始めとして伊達次、千丸、一讃、コ千代、小太郎、千代樂京太郎、すみれの方から花奴また臨時應援に大連の小川から千代松などの面々がつめかけて、イヤその賑かなこと

×

これまですみれを經營して來た若い女將おまささんがこつちに引移つて采配を揮ふのださうです、ところで去年こちらにすみれが店を開くと小川の新京進出の第一陣を承つて來て洗練された手腕と、その明朗なのとで人氣を一身にあつめた千鶴子が今度も第一陣を承つて病後を厭はずやつて來たのは橋南花街に光彩を添へるものであり、また千鶴子くさ引つぱり凧で弱らせられなけりやいゝがと思はれます、彼女すつかり痩せて、年も二つ三つ若くみへるやうになつて居ります、これぞのセンズル子であります

## 四百六圓を 掛帶姿を消す

奉天西塔後群記銀號店員川東省樂縣柱家王城鄉作藩(二三)は四日午後零時ごろ益發銀行から國幣四百六圓を受領し行方を晦した

## 街の日記

### 拾ひもの

▲軍司令官々邸內倉田松之助氏は五日午後十時ごろ長春座で臺口一個在中現金一圓七十六錢を拾つた

▲電信電話會社新京工務所百田一雄氏は六日午後一時三十分ごろ西本願寺前で金側腕卷時計一個を拾つた

### 落しもの

▲奉天商市場二三七福田アパート內松竹勝馬氏は四日午後四時ごろ新京驛構內で財布一個在中十三圓を落した

▲西公園前伊藤丈一氏方能村利八郎氏は四日午後十時ごろ富士町三丁目漢陽旅館前で黑皮製二ツ折カバン一個在中書類日用品若干を落した

▲吉野町三丁目關東軍經理部宿舍吉村大造氏は四日午前七時三十分ごろ入船町四丁目十九番地先で呂刺財布一個現金五圓余を落した

▲天津チャンテラス十番地ボートュンドサュフスカヤ氏は四日午後九時新京驛から日本橋通十四番地に行く間黑色ハンドバツク一個を落した

▲寬城子亞洲製粉工場內村田孝造氏は五日午前十時から同十一時の間寬城子から新京郵便局に行く途中書留郵便一通在中興業債券一千圓を落した

▲城內西三道街盛王忠氏は茶色毛布二枚女物支那長衣支那靴二足を六日午前十時三十分ごろ馬車で新京驛に行き下車の際車上に置き忘れた

▲三笠町五ノ三新京乘馬俱樂部出口友之助氏は軍用毛布掛下品時價四圓を六日午後六時馬車上に置き忘れた

### 盗難屆

▲日本橋通二十九番地增田省吾氏所有自轉車一台を四日午後六時ごろ自宅前で窃取された

▲富士町三丁目十三番地朝日タクシー韓相萬氏は三日午後十時三十分ごろ同家控室で就寝中財布から現金十一圓を拔き取られた

▲城內大經路十六號篠原謙重氏所有自轉車一台を四日午後五時ごろ自宅前で窃取された

▲曙町四丁目十二番地仁羽ふさのさんは金側時計一個時價八十圓を一日から二日の間に自宅戸棚の中で窃取された

▲大和通三十一番地中島文化堂平田四三一氏所有クローム側腕時計一個を六日午前八時から十時の間自宅机の上に置いてあるを窃取された

▲日之出町二丁目八番地松本寅市氏所有ウドン鉢十五個茶椀十五個ニユーム鍋五個丼二十個を東三條通十八番地路上屋台內に置いてあるを窃取された

## ラジオ欄

八日(月曜日)新京
午後五時 〇分 子供の時間(奉天より)
同 五時三〇分 ニユース(英語)
同 五時四〇分 ニユース(露語)
同 五時五〇分 ニユース(鮮語)
同 六時 〇分 ニユース(東京より)

ラヂオの御用は東京無線 電四九二〇番へ

同 六時二〇分 語學講座 講師高宮盛逸(滿語)
同 六時四〇分 語學講座 講師植松金枝(日語)
同 七時 〇分 演藝(滿語)
同 七時三〇分 講演(滿語)
同 八時 〇分 ニユース 氣象豫報プログラム豫告(滿語)
同 八時三〇分 時報(東京より)
同 八時四五分 ニユース 氣象豫報
同 九時 〇分 演藝 音曲斷一曙一平
引續明日のプログラム豫告

新京キネマ 電話二〇六八番
七日、八日 晝夜上映
パラマウント映畫
颯爽西部アメリカの平原を疾驅するカウボーイの妙技郎なす巨牛を操つるトントが美人と財寶を護つて惡漢と大亂闘の爽快篇
幽靈牧場
全發聲日本版
ヘンリー・ハサウエイ氏監督
日活特作現代劇大谷俊夫作品
若き日の惱み
山路ふみ子、井染四郎共演
日活超特作時代劇
原作大佛次郎監督山中貞雄
大河內傳次郎二役熱演
鼠小僧 道中の卷
清川壯司、鳥羽陽之助、高瀨實乘、寺島貢、高津愛子

開業披露
料亭 ひとすじ
皆樣!! どうぞよろしく!
三笠町二丁目
電話三四一〇番
▽キャピタル裏通り△

今冬流行の新柄
冬の呉服陳列
吉野町二丁目
(久) 村岡呉服店
電話二一二四番

新年御宴會は
割烹 幸樂
昨年中は御手落ばかり申して申譯ありません……
御陰樣で昭和九年の新春を迎へさせて頂きました
新春と同時に內容を一新致しまして皆樣方の御氣に召す樣!!
努力中であります……!!
さぞかし多事多端の事と存じます
何卒御見捨てなく幾しく御引立の程を御願致します
四十人樣迄での御宴會を御相談に應じます
入船町二ノ二七 電二六六一番

質
貸出勉强 保管確實
新京祝町三ノ三(花園前)
三浦屋質店
電話三七五番

# 慶安異聞 艶魔地獄

(百三十七)

玉水三郎

(舞臺上演 映畫化)

(畫)長谷川小信

獨り燥悶 (一)

お八重は一入悄然として、

『何も彼も私が悪いのです。知らずにした事から、多くの人に迷惑かけるとは思ひませんでした』

お繁は打消すやうに、

『お八重さんは、何を言ってるのさ。構ふもんかね。向ふもさんざ今までお瀧さんで、お金儲けしてゐたんぢゃないか。商賣の上から外の家が繁昌し出して、自分の店が寂れるなんて、世間に幾らもある事ぢゃないの。そんな事に遠慮して、此セチ辛い世が渡って行けるもんかね。月代だって此の家に負けないやうにすりゃ。何も店を賣物に出さなくって可いんだ……ねえ花ちゃんさうだらう』

お花も相槌打って、

『さうだともさ、お八重さんに客を取られると思ったら、お八重さん以上の別嬪を置けば可いぢゃないか』

『第一お瀧さんに就ちゃ、悪い噂が立ってるんだよ。お八重さんは知るまいけど、お瀧さんのお茶ッぴいに似合はない、好いお客が附いて、お武家で金井半兵衞さんといふ、大變お金廻りのいゝ人を、旦那にしてゐる事は、誰でも知ってるだらう。所がお瀧さんの兄さんが、大變質のよくない人で、何んでも肩書付のゴロなんださうで、其人が金井さんに會って、お金の無心を吹掛けたりした事があるんだとさ。それで旦那の方も少し厭氣がさして、大阪の方へ旅をすると言って、逃げを張ったとか聞いてゐるんだよ。お八重さんはお瀧さんの兄さん知ってるかい。お前さん昨夜お瀧さんの家へ遊びに行ったさうだが、其兄さんに會はなかったかい』

お八重はこの話を聞いて扨はと氣附いたが、今は何も云はなかった。

『お八重さんは人が好いから、あんまりお瀧さんと交際はない方が可いよ』

『月代の内儀さんは、以前のやうに町内の若い衆始め、お客が取返せないやうなら、店を疊むとお瀧さんを責めたさうだよ。其中に今朝私が出がけに、あの店のお鈴さんに聞いた所ぢゃ、店を賣物に出したので買方が二人三人出來て[illegible]もう引張り凧になってると[illegible]』

お花。

『マア早い話だね』とお繁[illegible]

『何でも店の株は、五十兩[illegible]りゃ手離さないと、内儀さんは[illegible]張ってゐるけど、此頃の不景氣だから、三十兩位でといふので、マアちょいと半値同様の開きで、二三日ぢゃア話が纏まらないさうだよ』

お八重は二人の話を、もう聞きたくない容子で、

『アゝ私さへ此店にゐなかったら月代の店も立つし、お瀧さんも無事で勤めてゐられやう。唯此三吉郎に私が前借りした十兩のお金、それさへあったら……』

と口の中で呟いて、

『お繁さん、お花さんも今日は私早仕舞で歸らして貰ひますよ。内儀さんにも頼むから、何うぞ店の片附けだけを……』

『お八重さん何處へ行くの。今夜は闇だよ、それに空が雨催ひぢゃないか』

『あの暫らく牛込へ行かないから、今夜は十坊の顔見がてら、兄さんにも話があるし、直き歸って來るから頼みます』

お八重は、三平に相談するつも

---

月曜 己卯 先負 滿 張宿

舊十一月廿三日

●一白の人 勇奮我慢すれば難事も通達するに至る吉日 已と丙と癸が吉

●二黒の人 誠法界の企を立て再起蹶束なき立場となる 乙と庚と亥が吉

●三碧の人 剛慢不遜は自ら敬遠せられ萬事不利となる 庚と癸と寅が吉

●四綠の人 目上との折合能ければ立身出世の喜ある日 申と庚と癸が吉

●五黄の人 頼る人に愛憎を盡さんより獨力奮起すべし 甲と丁と辛が吉

●六白の人 飼犬に手を咬まるゝが如し雇傭注意すべし 乙と丙と丁が吉

●七赤の人 神明佛陀の冥護を仰ぎ自我を專にす可らず 丙と亥と寅が吉

●八白の人 一家心を協せて家業に勉むるが無事なる日 甲と辛と戌が吉

●九紫の人 元氣を振って活躍すれば希望達成する吉日 庚と亥と癸が吉

---

大阪商船出帆

門司、神戸(大阪)行

×三等船客設備船 (午前十時大連出帆)

はるぴん丸 一月九日
×たこま丸 一月十日
香港丸 一月十二日
うすりい丸 一月十四日
ばいかる丸 一月十六日
×しあとる丸 一月十七日
亞米利加丸 一月十八日
うらる丸 一月二十日

●切符發賣所 滿鐵沿線主要各驛及各地ジャパンツーリストビユーロー案内所

船車連絡切符(往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引) 通用期間二ケ月

大連、門司、神戸間乘船切符(往復切符ハ復路運賃一割引) 通用期間三ケ月

●專屬荷扱所 各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社 大連支店 電話四一三三七番

奉天出張所電話(四)〇八九番 新京出張所電話(二)二一二六

---

辯護士 沼田勇法律事務所

入船町四丁目廿九ノ二 電話二一四七番

---

直扱の運搬は―電話三八七八番へ!!

海陸運送 建築材料運搬 引越荷荷造 市内運搬

(正) 丸正運送店

新京三笠町四ノ五 電話三八七八番

---

御料理 八千代館

長春吉野町 電話三〇九七 四六番

---

印刷機械及材料 各種印刷と製本

卸小賣 北原紙店

電話三二四〇一

---

新京日日新聞社 營業部 電三三〇〇番

---

皮膚、泌尿科 外科、性病科 同仁醫院

富士町二 電話二六〇六番

診療(自午前九時至午後五時) 日曜祭日午前中

---

内科 小兒科 神經科 福島醫院

室町二丁目 電話二九五八番

電話ダケハ夜十一時ヨリ朝六時マデ御遠慮ヲ願マス

---

月刊雜誌 文房具 事務用品 和洋紙

ミツワ書店

新京吉野町銀座街 電話三三一番

---

宴會の勉強

川魚料理

鰻料理 ウマキ カバヤキ ウナタマ丼
スッポン 水炊
料理 スキヤキ

●博多鍋料理
●鯛茶

物に定味なし……口に適して甘し……

當店獨特の調理方

食道樂 とゞろき

新京朝日通日本橋畔 電三九三六 二三七二番

---

會席御料理 曾我廼家

三笠町二丁目 電話二五八八番

---

耳鼻咽喉科專門

(入院隨時)

新京梅ヶ枝町四丁目二番地(領事館前東三條橋角)

公圭堂 三井耳鼻咽喉科院

院長 醫學博士 三井忠

電話二七〇三番

---

損害豫防機關

取引先信用調査 縁談先身元調査 各種企業調査 人事秘密探偵 經濟事情内報 貸借整理代行

秘密嚴守 料金低廉 十餘年前創業 全國各地聯絡

新京中央通 新京興信所 電話三三五〇番

---

會席御料理

新年宴會は勉強して御引受け致します

會席御料理 たでの家

---

美味の串料理 是非御試しを!!

漁場より直送の……まぐろ

吉野町二丁目 電四九二四番

二かく

---

純お江戸料理

食道樂 花本

永樂町二丁目一番地 電話四八七五番

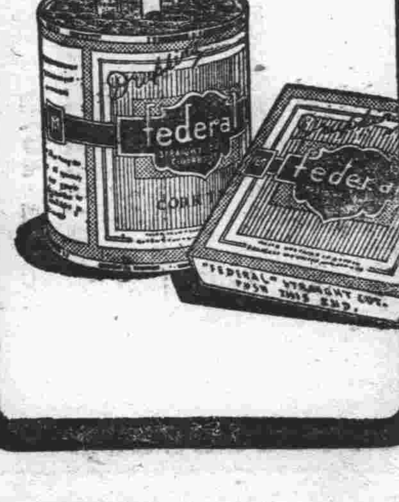
---

---

英國製高級煙草

フェデラル

コルクロ付





---

診療受付 正午より午後三時まで

内科 小兒科 杏林堂醫院

中島信之 電話二五二〇番

隨時往診の需に應ず

内科、小兒科 醫師 堂脇サト子

---

御料理 東明

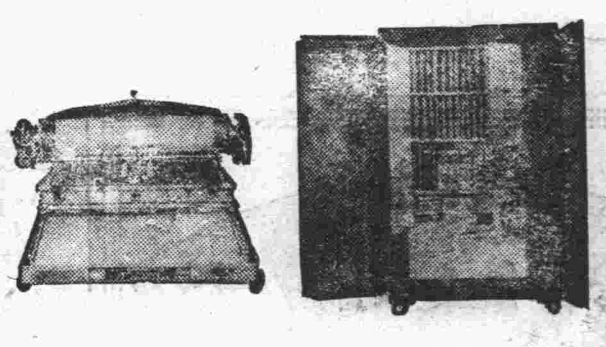
吉野町二丁目五 電話二二三七番

---

最高級 最新式

東京竹内製金庫南滿總代理店

菅沼式邦文滿文タイプライター北滿總代理店



營業品目

| | |
|---|---|
| 竹内金庫 | 電氣時計 |
| 鋼鐵製家具 | 電線ゴム製品 |
| 堀井謄寫版 | 自轉車人力車 |
| 高等事務器 | 自動車オートリヤカー |
| ニッポン金錢登錄器 | |
| ピストル型消火器 | |

昌和洋行新京支店

新京八島通二〇 電話長二七六一番

本支店 奉天・大連・ハルピン・天津・青島・大阪・濟南